



亀っ子だより

第1号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2019年4月19日

校長 自己紹介

この4月から亀崎小学校でお世話になっております浜野洋行と申します。亀崎小に来る前は、板山小に3年間勤務していました。昭和60年4月から63年3月まで亀崎小にお世話になっていました。その時は、初任者として赴任したので、右も左もわからぬまま、ただ一生懸命に毎日を過ごしていたように思います。だから、その当時の子どもたちにも保護者の方にも大変ご迷惑をおかけしていたことと思います。2度目の勤務となり、亀崎小に恩返しをしてきなさいと天の声が聞こえるような気がしています。前任の貝沼校長先生のようにはいかないと思いますが、自分なりのペースで子どもたちとともに毎日成長していくことができればと思っています。

この亀っ子だよりは、不定期に出していきます。申し訳ありません。保護者・地域の皆さんにも知ってほしい子どもたちの姿を紹介していきたいと思っています。読んでいただければ幸いです。

入学式 校長式辞

新1年生の皆さん、おはようございます。(元気のよい挨拶ができましたね。)

私は、亀崎小学校の校長の浜野洋行と申します。よろしく申し上げます。みなさんは今日から、亀崎小学校の1年生です。みなさんの入学を、先生方も、お兄さん、お姉さんたちも、楽しみにしていました。これから、亀崎小学校で一生懸命に勉強したり、いっぱい遊んだりしてください。1年生の皆さんに、頑張ってもらいたいことがあります。それは、元気に挨拶することです。でも、挨拶するだけではだめです。挨拶する相手より先に挨拶をしなければなりません。朝起きたら、お家の人より先に、元気よく「おはようございます」と言いましょ。でも、おうちの人より先に言うんですよ。学校で担任の先生を見つけたら、先生より先に、元気よく「おはようございます」と言いましょ。校長先生も負けてはいません。みんなを見つけたら、みんなより先に「おはようございます」と元気よく言います。校長先生より先に「おはようございます」が言えたら校長先生の負けです。頑張ってください。でも、校長先生も負けませんからね。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にめでたうございます。ただいまより6年間、大切なお子様を、責任をもってお預かりいたします。わからないこと、不安なことがありましたらすぐに担任に連絡してください。家庭と学校とが力を合わせて、子どもたちのために教育活動を進めていきたいと考えております。ご家庭でのあいさつ競争もぜひ行ってください。子どもとお家の人とどっちが早く「おはようございます」と言えるか、毎朝、楽しく競争してみてください。きっと、子どもたちが元気に家を出て、楽しく登校できると思います。

最後になりましたが、入学式を行うにあたり、多数のご来賓の方々にご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。今後も、これまで同様のお力添えをお願いいたします。さあ、1年生の皆さん、今日から亀崎小学校のスタートです。勉強に運動に力一杯がんばりましょ。これでお祝いの言葉を終わります。

始業式 校長の話

私には、夢があります。それは、この亀崎地区を挨拶でいっぱいにする事です。学校でも、みんなの家でも、そして街中でも、みんなが挨拶を交わせる街にしたいと思っています。それには、校長先生一人の力ではできません。亀崎小学校の児童の皆さんと先生方の力を借りなければとてもできることではありません。まずは、亀崎小学校を挨拶でいっぱいの学校にしましょう。先生と子どもたちや、友達同士で挨拶がいっぱい交わされる学校にしたいと思っています。そして、亀崎小学校に来たお客さんやお父さん・お母さんにも挨拶をみんなですて、お客さんやお父さん、お母さんが、また亀崎小学校に来たいと思える学校にしたいと思っています。そんな学校にできたら、素敵だと思いませんか。きっと、そこに通う子どもたちも先生方も毎日が楽しくなり、勉強や運動で力をいっぱい伸ばすことができる学校になっていくと思います。この1学期、みんなで力を合わせて、挨拶がいっぱいの亀崎小学校にしていきたいと思います。

ある朝の光景

朝、ある班の後ろをついて学校へ向かっていた時のことです。班長（女子）さんの隣を1年生の女の子が歩いていました。下り坂だったので、1年生の子が転んで、泣いてしまいました。すると、その班長さんは、すぐに1年生の子のランドセルをおろし副班長さんに渡すと、自分のカバンを前にかけて1年生の女の子をおんぶしました。下り坂を降りて、信号機を渡り、上り坂を歩いている途中で1年生の子をおろし、1年生の子のランドセルを手を持ち、手をつないで歩き出しました。学校につくと1年生の子を保健室に連れて行き、先生に手当てを任せると自分のクラスへと歩いていきました。その光景を私は後ろからただ見ていました。手伝ったほうがよいかと思いましたが、班長さんの行動のすばらしさに、ただ心の中で拍手をすることしかできませんでした。心の底から感心しました。

♣ 子育てアラカルト ♣

[もし子育てをやりなおせるなら]

もし、子育てをやりなおせるなら、家よりもまず、子どもの自尊心を築き上げます。間違いを直そうとばかりしないで、子どもともっと心を通わせます。時間ばかり気にしないで、子どもの成長を見つめます。知識ばかり詰め込もうとしないで、心を思いやりでいっぱいにします。



もっとハイキングに行って、広い野原で子どもと一緒にたこあげをします。深刻ぶるのはやめて、子どもと夢中になって遊びます。広い野原を一緒に駆け回って、空いっぱいの星をじっと眺めます。意地を張らないで、子どもをもっと抱きしめます。目先のことだけにとらわれないで、もっと長い目で子どもを育てるようにします。うるさいことばかり言わないで、もっと子どもをほめてあげます。

そして、成功や権力を追い求めるのではなく、愛の力の素晴らしさを子どもに教えます。（ダイアン・ルーマンズ作）
（ある教育者のひとり言 より）

